

顧問先向け 記帳代行用ツール簡易手順書

2025年5月

弥生株式会社
営業推進部

目次

1. 記帳代行用ツールとは
2. 「スマート証憑管理」とは
3. 「スマート証憑管理」利用のメリット
4. 「記帳代行用ツール（口座連携）」とは
5. 「記帳代行用ツール（口座連携）」利用のメリット
6. 記帳代行用ツール利用の承諾手順

<「記帳代行用ツール（口座連携）」を利用する場合のみ>

7. 金融機関の登録

記帳代行用ツールとは

- 記帳代行業務を行う会計事務所と顧問先が連携をすることで、仕訳入力に必要なデータの取得や情報の共有を行えるようにするためのツールです。
- 設定すると以下のサービスが利用できます。

①

「スマート証憑管理」の利用

②

金融機関等の明細自動取得
「記帳代行用ツール（口座連携）」の利用

「スマート証憑管理」とは

- 「スマート証憑管理」は、領収書・請求書・納品書・見積書などの証憑を保存・管理できるサービスです。
- AI-OCRによる文字情報の自動読み取りや、インボイス制度における適格請求書の適正性判定などの機能があります。（顧問先が直接スマート証憑管理へ証憑をアップロードする場合に利用可能）



「スマート証憑管理」利用のメリット

- ✓ 弥生製品を導入していなくてもご利用可能です
- ✓ 顧問先が直接証憑をアップロードできます
- ✓ 会計事務所がアップロードした証憑を顧問先が検索・閲覧することができます
- ✓ 電子帳簿保存法の要件に則った証憑の管理ができます

「記帳代行用ツール（口座連携）」とは

- インターネットバンキング等と連携することによって、明細・取引の内容を直接会計事務所にデータ送付できるサービスです

いままで



領収書・受領請求書・発行請求書・
預金通帳コピー・クレジットカード
の利用明細・現金出納帳



会計事務所

これから



記帳代行用ツール（口座連携）
の利用

明細自動取得



会計事務所



「記帳代行用ツール（口座連携）」利用のメリット

- ✓ 弥生製品を導入していなくてもご利用可能です
- ✓ 書類の郵送にかかる料金・時間が節約できます
- ✓ 郵便物の紛失リスクも回避できます
- ✓ リアルタイムでデータが送られるため、受取確認の手間なし
- ✓ データ連携設定は原則ブラウザ上で完結。インストールの必要なし

記帳代行用ツール利用の承諾手順

記帳代行用ツール利用の承諾

ログイン

弥生ID（メールアドレス）を入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

弥生ID（メールアドレス）

次へ

はじめてご利用のお客さま

弥生IDをお持ちでない方は、こちらからご登録ください。

弥生ID新規登録

③

④ 弥生IDとは



弥生ID新規登録

アカウントを作成する

すでに弥生IDをお持ちの方はこちら

④

名前

姓 名

メールアドレス（弥生ID）

メールアドレス

パスワード（半角英数字記号8～64文字、英字の大文字小文字は区別されます。）

パスワード

ログイン画面が表示されたら、
③弥生ID新規登録をクリック

※既に弥生IDをお持ちの場合は、「ログイン」画面からお持ちの弥生IDを入力してログインし、手順⑧へ進んでください

④弥生IDを登録

登録すると確認コードを入力する画面が表示され、同時に登録した弥生IDへ「【弥生】確認コードのお知らせ」のメールが送信されます

記帳代行用ツール利用の承諾

弥生ID新規登録

確認コードを入力する

メールアドレス(※ 弥生ID)に確認コードが送信されました。
送信された確認コードを入力してください。

XXXXXX ⑤

確認コードが届かない場合は、以下が考えられます。
・送信センターの混雑により、遅延が発生している
・迷惑メール設定などで受信を制限している
・メールアドレスを誤って入力した

上記をご確認のうえ、**確認コードを再送する**

確認する ⑥

戻る

確認コードの有効期限は10分です。有効期限が切れた場合や確認コードが届かない場合は、ここをクリックすると再送できます。なお、再送できる回数は2回までです。

⑤ 「確認コードのお知らせ」メールで通知された確認コードを入力

<確認コードのお知らせメール>



⑥ **確認する** をクリック

弥生ID新規登録

弥生IDの登録が完了しました 🎉

サービスの利用へ進む ⑦

⑦ 「弥生IDの登録が完了しました」と表示されたら **サービスの利用へ進む** をクリック

記帳代行用ツール利用の承諾

ログイン

弥生ID (メールアドレス) を入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

弥生ID (メールアドレス)

次へ

はじめてご利用のお客さま

弥生IDをお持ちでない方は、こちらからご登録ください。

再度ログイン画面が表示されたら、
⑧手順④で登録した弥生IDとパスワードでログイン

事業者 (事業グループ) 情報登録

⚠ 事業者(事業グループ)登録について

事業所内ですでに事業グループを登録している場合は、事業グループの管理者から招待していただいでください。(招待の方法はこちら)

事業者情報登録の為に必要な情報を入力してください。

会社情報

事業形態 *必須

会社・個人事業者名 *必須

◎日中に連絡が取れる電話番号を入力してください。

登録する

⑨事業者 (事業グループ) の情報を入力

⑩登録する をクリック

記帳代行用ツール利用の承諾

記帳代行用ツール利用の承諾

お客さまが記帳代行用ツールを利用するには、「記帳代行用ツール」利用規約に同意する必要があります。

依頼者情報

依頼者名: ○△□全計事務所
住所: 東京都千代田区 外神田
電話番号: 03-XXXX-XXXX

依頼者メッセージ

よろしくお願ひします

記帳代行用ツール **⑪**

利用する 利用しない

記帳代行用ツールの利用について

本サービス **⑫** 利用のお客さまは、「記帳代行用ツール」利用規約 および プライバシーポリシー **⑫** をお読みいただき、同意いただける場合はチェックを入れてください。

記帳代行用ツール」利用規約およびプライバシーポリシーに同意します。

⑬ 確認する

記帳代行用ツール利用の承諾

依頼者情報

記帳代行用ツールの利用

利用する

メッセージ

入力されたメッセージはありません

⑭ 確定する

前の画面に戻る

依頼者情報、メッセージを確認して

⑪ 利用する をクリック

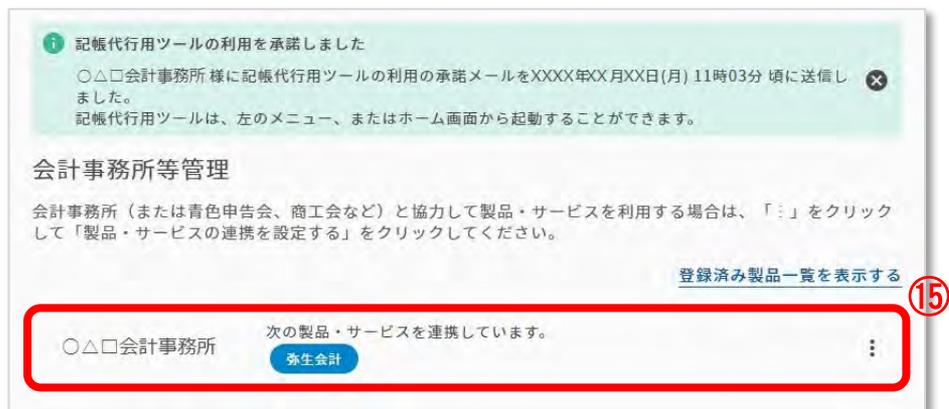
⑫ 「記帳代行用ツール」利用規約およびプライバシーポリシーに同意します。 にチェック

⑬ 確認する をクリック

確認画面で内容を確認して

⑭ 確定する をクリック

記帳代行用ツール利用の承諾



会計事務所等管理の画面が表示されたら、

⑮ 依頼元の会計事務所名が表示されていることを確認

⑯ ホーム をクリック



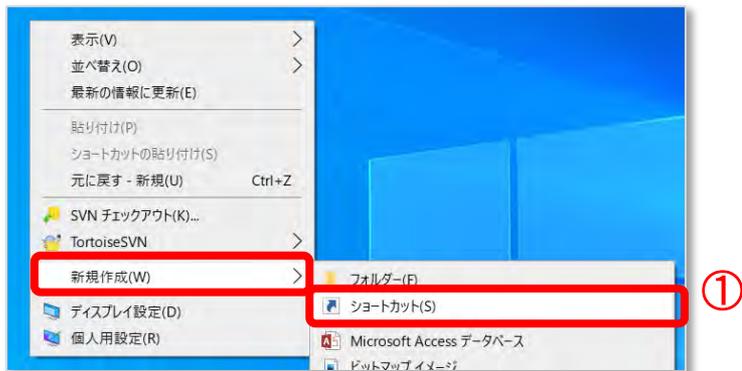
⑰ 「お使いの製品」に「スマート証憑管理」と「記帳代行用ツール（口座連携）」が表示されていることを確認



お薦め!

マイポータルへのショートカットアイコンを作成

- 手続きが完了したら、次回起動用にデスクトップにショートカットアイコンを作成しておくことをお薦めします



＜ショートカット作成手順＞

デスクトップ上で右クリックして表示されたメニューから

① **新規作成** の **ショートカット** をクリック

② 以下のURLを指定して **次へ** をクリック

URL: <https://myportal.yayoi-kk.co.jp/>

③ わかりやすい名前をつけて **完了** をクリック



(参考) スマート証憑管理の使い方について

- スマート証憑管理は、承諾の手続きが完了すればすぐに使用できます



ここをクリック
すれば起動でき
ます

- スマート証憑管理の操作については、以下をご参照ください

スマート証憑管理の利用の流れ

https://support.yayoi-kk.co.jp/subcontents.html?page_id=26950

※ どこまでを顧問先が行うかは、会計事務所にご相談ください。

『スマート証憑管理』のみ使用する場合は、13ページまでの設定でご利用いただけます。
「記帳代行用ツール（口座連携）」（金融機関等の明細自動取得）を利用する場合のみ、
以下の設定を追加で行ってください。

＜「記帳代行用ツール（口座連携）」を利用する場合のみ＞ 金融機関等の登録

- ◆ その他サービスの自動連携は設定が異なります
- ◆ 連携するサービスが提供する設定手順をご確認ください

事前準備

■ ログインIDの権限確認

- ◆ 金融機関のインターネットサービスにログインし、各口座の残高と入出金明細が閲覧できることをご確認ください

■ 法人口座をご利用の場合

- ◆ 電子証明書を利用してログインする金融機関の場合は、事前に電子証明書をコンピューターにインストールしてください
- ◆ 金融機関の登録や利用明細の取得は電子証明書が入っているコンピューターから行う必要があります

■ 事前申込が必要な金融機関

- ◆ 事前に権限設定や、各種IDなどのお申し込みが必要な金融機関があります
- ◆ 詳細は弥生FAQ「[金融機関と連携するための準備](#)」をご確認ください

(参考) 対応金融機関と対応サービス

- データ連携できる金融機関は、全国1,100件以上。連携可能な金融機関のサービスは2,500件以上です（2024年8月時点）



- 連携可能なサービスは以下です（2025年3月時点）



※ 「Misoca」は弥生（株）が提供しているサービスです。他のサービスの詳細は、各提供会社へお問い合わせください

連携可能な金融機関、サービスは随時更新しております。最新情報はホームページでご確認ください。→<https://www.yayoi-kk.co.jp/smart/>

【口座連携に不安を感じている方へ】

銀行との連携は、金融機関公式連携（API連携）を使用していますので安心です。また、クラウド版連携方式の場合でも、IDやパスワードを暗号化して保存していますので、セキュリティに問題はございません。

金融機関の登録



① ホームをクリック

② お使いの製品一覧に、記帳代行用ツール（口座連携）が表示されていることを確認

③ 製品を起動する をクリック

④ 連携先を追加する をクリック

金融機関の登録



⑤口座連携の **連携する** をクリック



⑥ログイン画面へ をクリック

金融機関の登録

弥生シリーズ ログイン

⑦

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX@XXXX.XX.XX

.....

ログイン



外部サービス連携確認

「口座連携」と弥生シリーズとの連携を許可しますか？

口座連携

このサービスと連携すると、次の動作が許可されます。

- ・「口座連携」に対して、名前とメールアドレスを送信します
- ・「口座連携」に対して、会社名を送信します
- ・弥生シリーズに「口座連携」で入力した取引データが取り込まれます

なお、取引データ以外の取り込みはされません。

「口座連携」との連携により、弥生シリーズのサービス利用に関して

1. 弥生株式会社は、「口座連携」が上記アクセス権を用いて弥生株式会社に提供する取引データを取得・保存し、スマート取引取込の提供及びサービスの改善・開発等のために利用します。
2. 弥生シリーズ利用者様からの指示要求に従い、弥生株式会社は「口座連携」に対し、「口座連携」が弥生株式会社に取引データを送り込むためのスマート取引取込へのアクセス権を与えます。

キャンセル 同意の上連携する

⑧

⑦弥生IDとパスワードを入力して、ログインをクリック

※P9で作成したもの

連携の許可について内容を確認し、

⑧同意の上連携する をクリック

金融機関の登録



⑨新規口座登録 をクリック



例) 三井住友銀行

⑩カテゴリから探す を選択

⑪銀行 を選択

⑫ミ をクリック

金融機関の登録

登録したい金融機関を選択してください。

口座登録状況 : 金融機関選択 > ログイン情報登録 > 登録口座選択 > 完了

登録したい金融機関を選択してください。

カテゴリから探す

カテゴリーから探す

銀行 カード 電子マネー

五十音順で絞り込む

ア カ サ タ ナ ハ マ ヤ ラ ロ
イ キ シ ス ニ ヒ ミ ユ
ワ ク ス ツ ヲ フ ム コ ル
エ ケ セ テ ネ ヘ ヌ レ
オ コ ソ ト シ ホ エ ヨ ロ

▼ 検索結果を表示しています。 [48件]

- 三井住友銀行
- みずほ銀行
- 三井住友銀行**
- 二井住友銀行
- 三井UFJ銀行
- みなと銀行
- みんなの銀行
- 南日本銀行
- 宮崎銀行
- 宮崎太陽銀行
- 水沢信用金庫
- 宮崎第一信用金庫

金融機関を選択して次へ

⑬三井住友銀行 を選択

⑭金融機関を選択して次へ をクリック

ログイン情報を入力してください。

口座登録状況 : 金融機関選択 > ログイン情報登録 > 登録口座選択 > 完了

三井住友銀行の口座を登録準備しましょう！
インターネットバンキングのログイン情報(ID、パスワード、契約者番号、確認番号、ワンタイムパスワード)はお持ちですか？

取得方式選択

[法人]三井住友銀行パソコンバンクWeb21

取得方式を選択してください。

クラウド版 金融機関 公式連携

SMBC

インターネットバンキング
ValueOne (Vネット) ログイン/外部連携

パスワード ログイン
ワンタイムパスワード ログイン

戻る

⑮インターネットバンキングにログインする方法を選択



金融機関のインターネットバンキングの名称が表示されます、種類が複数ある場合はリストから選択します。
ご自分が利用しているインターネットバンキングの種類が不明な場合は金融機関へお尋ねください。

[法人]三井住友銀行パソコンバンクWeb21

[個人]三井住友銀行

金融機関の登録



⑩取得方式のボタンをクリック



金融機関等の明細の取得方式は、以下の2種類があります

- ・クラウド版 【金融機関公式連携】
- ・クラウド版

ご契約中の金融機関によって、取得方式が異なるため、表示されるボタンも異なります

例えば、クレジットカード [法人] MUFGカードの場合は「クラウド版」のため、以下のボタンが表示されます



取得方式は連携する金融機関等によって異なります

また、自動更新に関する設定も異なります

取得方式の違いは次ページをご参照ください

(参考) 明細の取得方式について

■明細の取得方式

設定時のボタン表示	アイコン	特長
		<ul style="list-style-type: none">● 主に、銀行と連携する際の取得方式です● 明細は金融機関ごとに決められた時間に自動取得します
		<ul style="list-style-type: none">● 主に、クレジットカードや電子マネーと連携する際の取得方式です● 原則として自動更新ですが、一部自動更新対象外や、更新時間の設定が必要な場合があります● ワンタイムパスワードが必要となる場合があります。その場合は、明細の自動更新はできないため、手動で更新が必要です

※ 「クラウド版【金融機関公式連携】」は「API連携」ともいいます。そのため、アイコンには「API」の文字が入っています。

本手順書では  が表示された場合の手順をご説明します

 が表示された場合の手順は [スマート取引取込「弥生口座自動連携」設定ガイド](#) をご参照ください



⑰ 口座連携する をクリック

例) 三井住友銀行



別ウィンドウに金融機関の画面が表示されるので、画面の指示に従ってログイン情報を入力します



表示される画面は金融機関、契約している口座によって異なります

登録する口座を選択してください。

口座登録状況 : 金融機関選択 > ログイン情報登録 > 登録口座選択 > 完了

〇〇〇〇〇 銀行の口座を登録します
登録したい口座を選択し、口座登録ボタンをおしてください ⑱

分類の選択
法人口座 [▼] + 分類の編集

登録口座の選択

<input type="checkbox"/>	支店	口座種別	口座番号	残高
<input checked="" type="checkbox"/> ⑲	本店	普通	1184130	¥841,000

⑳ ←戻る →口座登録



口座登録を完了しました。

口座登録状況 : 金融機関選択 > ログイン情報登録 > 登録口座選択 > 完了

口座登録を完了しました。
登録した口座の明細を今すぐ取得したい場合は[明細取得へ]ボタンをクリックしてください。
登録した口座の利用明細を取得できます。
続けて、他金融機関の口座登録を行う場合は[総合明細/登録金融機関一覧]>[新規口座登録]ボタンをクリックしてください。

⑳ 閉じる →明細取得へ ㉑

⑱ 分類を選択

※初期値は「個人口座」です
法人口座の場合は変更してください

⑲ 登録したい口座にチェック

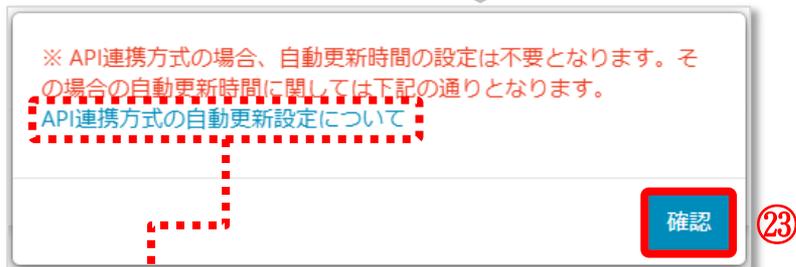
⑳ 口座登録 をクリック

続いて明細の取得を行います

㉑ 明細取得へ をクリック



② 明細取得開始 をクリック



必要に応じて自動更新時間に関する説明を確認し、

③ 確認 をクリック

「API連携方式」は、「クラウド版【金融機関公式連携】」のことを指します

対象の金融機関の見分け方や自動更新時間の設定が不要な理由が記載されているので、この画面が表示されたらここをクリックして内容を確認しておきましょう



金融機関の登録



②④金融機関一覧に登録した金融機関が表示されたことを確認

②⑤スマート取引取込 を選択



②⑥閉じる をクリック

※「以下の口座は取得設定が完了していません」と表示されますが、これ以降は会計事務所が設定するため、顧問先での設定は不要です。

金融機関の登録



㉓

㉓左の画面が表示されたら完了です。ログアウトし、会計事務所へ設定が完了したことをお知らせください

赤字のメッセージが表示されていますが、会計事務所にて設定する内容ですので、そのままログアウトして問題ありません。



(参考) 設定におけるサポートについて

- 弥生のカスタマーセンターにチャットでお問い合わせが可能です
チャットサポートをご利用ください



※ オペレーターに空きが無い場合は表示されません。

- チャットサポートの操作については以下をご参照ください

チャットサポートについて知りたい (クラウドサービス)

https://support.yayoi-kk.co.jp/faq_Subcontents.html?page_id=11850